

## 2025年度 学位授与式 学長告辞

2025年度学位授与式にあたり、青森市長 西 秀記（にし ひでき）様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、また多くの保護者の皆様にご出席いただき、心より御礼申し上げます。本日かくも盛大に学位授与式を挙行できますことは、青森公立大学教職員一同にとりまして、この上ない喜びでございます。

さて、卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了、誠におめでとうでございます。教職員を代表し、心よりお祝い申し上げます。また、皆さんをここまで支え続けてくださった保護者の皆様、関係者の皆様にも、深い感謝とお祝いを申し上げます。

皆さんが学生生活を送ったこの数年間で、社会は劇的な変貌を遂げました。国際情勢の不安定化や物価の高騰など、先行きの見通しが立ちにくいなか、生成 AI をはじめとする技術革新が、私たちの働き方を根底から変えようとしています。これまで人間が長年をかけて習得してきたスキルの多くが、AI によって瞬く間に代替される——そうした大きなうねりのただ中に、皆さんはこれから踏み出していくこととなります。

しかし、不確実な時代であればこそ、皆さんのような若い世代の力が、これまで以上に強く求められます。

そこで、これからの社会を生きるうえで、皆さんに大切にしていっていただきたい姿勢があります。それは、急速に進化する AI を恐れるのではなく、自らの力と可能性を広げてくれる「優秀なパートナー」として活用するという視点です。

AI は膨大な情報を処理し、瞬時に答えを示してくれます。しかし、「何のためにそれを行うのか」という目的を定め、社会の違和感から「問い」を立て、最終的な

責任をもって判断を下すことは、今のところ人間にしかできません。

皆さん、青森公立大学の教育の基本方針を思い起こしてください。「常に『なぜか』と問い、自らの頭で考え、創造力を育てる。」大学で皆さんが培ってきたのは、単なる知識の蓄積ではなく、まさに「自ら考え、行動する力」にほかなりません。

AI という優秀なパートナーを自在に使いこなしながら、人間ならではの直感や倫理観、そして地域への深い共感をもって、新しい道を切り拓いていってください。たとえ困難な状況にあっても視点を換え、柔軟に挑戦し続けることで、必ず前へ進むことができます。

皆さんは、これから、それぞれの道へ向かって羽ばたいていきます。この青森の地や県外、海外など、どこにいても、青森公立大学での学びを誇りとし、自らの可能性を信じて歩み続けてください。

結びに、本日、青森公立大学を巣立つ皆さんの未来が希望に満ちたものとなることを心から願い、2025年度 学位授与式の告辞といたします。本日は誠にありがとうございます。

2026年3月14日

青森公立大学 学長 神山 博